

世界の主な地震

令和2年（2020年）6月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

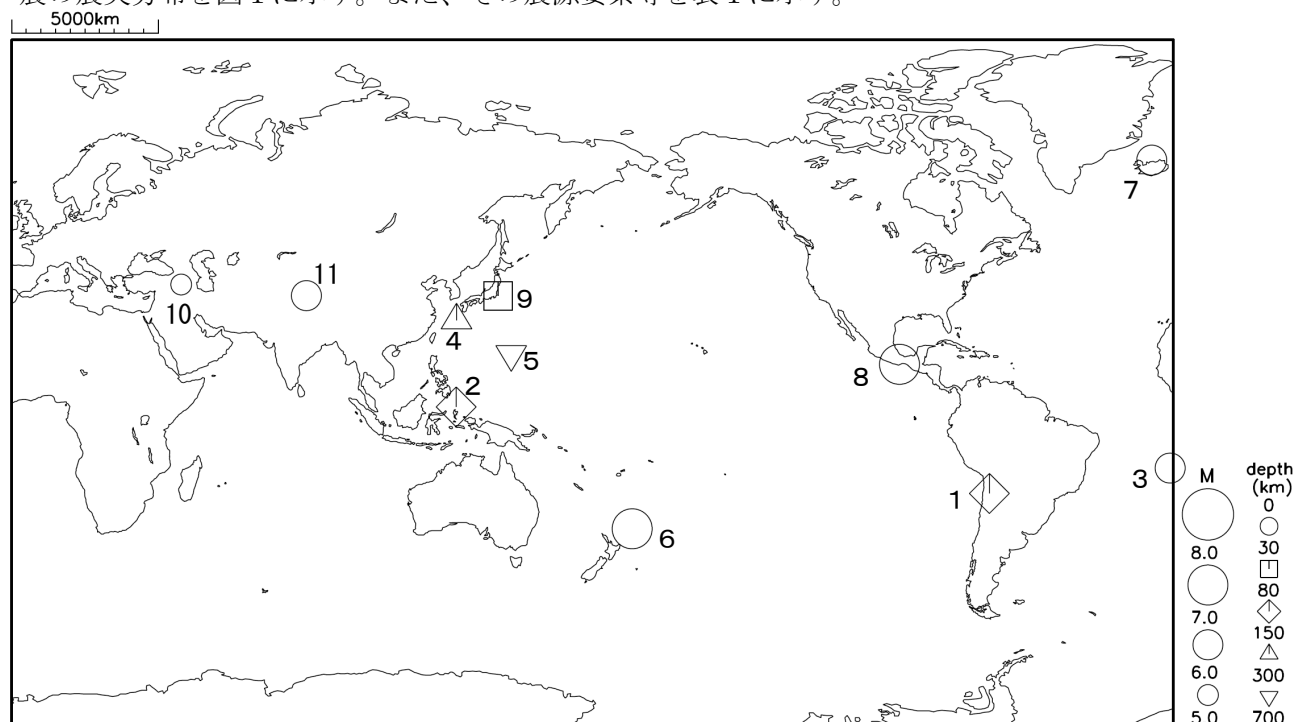


図1 令和2年（2020年）6月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和2年（2020年）6月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	03日16時35分	S23° 17.7′	W 68° 25.3′	97			6.8	チリ北部			
2	04日17時49分	N 2° 55.3′	E128° 14.8′	107			6.4	インドネシア、ハルマヘラ		○	
3	11日04時58分	S15° 46.3′	W 13° 02.8′	10			6.0	大西洋中央海嶺南部			
4	14日00時51分	N28° 45.8′	E128° 21.3′	165		6.3	(6.6)	奄美大島北西沖			
5	14日06時08分	N18° 55.9′	E145° 06.6′	622			6.2	マリアナ諸島			
6	18日21時49分	S33° 17.6′	W177° 50.2′	10			7.4	ケルマデック諸島南方			○
7	22日04時07分	N66° 23.3′	W 18° 41.2′	10			6.0	アイスランド			
8	24日00時29分	N15° 54.9′	W 95° 57.1′	20			7.4	メキシコ、オアハカ州沿岸	死者10人など		○
9	25日04時47分	N35° 33.2′	E141° 06.7′	36		6.1	(6.0)	千葉県東方沖	負傷者2人		
10	25日19時03分	N38° 33.4′	E 44° 01.3′	10			5.4	トルコ・イラン国境	負傷者5人など		
11	26日06時05分	N35° 35.7′	E 82° 22.7′	10			6.3	チベット自治区(中国)			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2020年7月1日10時現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(※)を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>)参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- ・津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による。

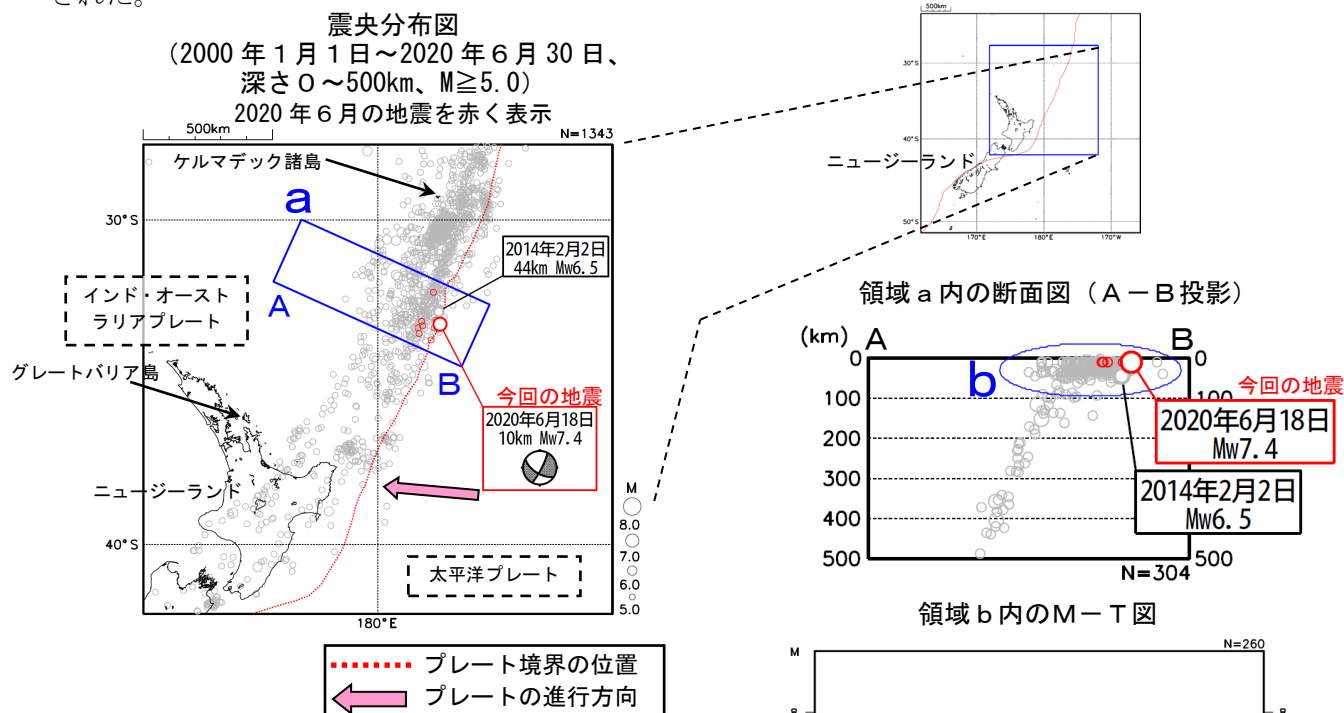
6月18日 ケルマデック諸島南方の地震

2020年6月18日21時49分（日本時間、以下同じ）に、ケルマデック諸島南方の深さ10kmでMw7.4の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレートの内部で発生した。

気象庁は、この地震により、同日22時15分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

この地震により、ニュージーランドのグレートバリア島で0.11mなどの津波を観測した。

1970年以降の地震活動を見ると、領域b内のケルマデック諸島周辺では、M7.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、今回の地震の震央付近では1986年10月20日にM8.1の地震が発生した。また、2011年7月7日にMw7.6の地震が発生し、ケルマデック諸島のラウル島で1.2mの津波が観測された。



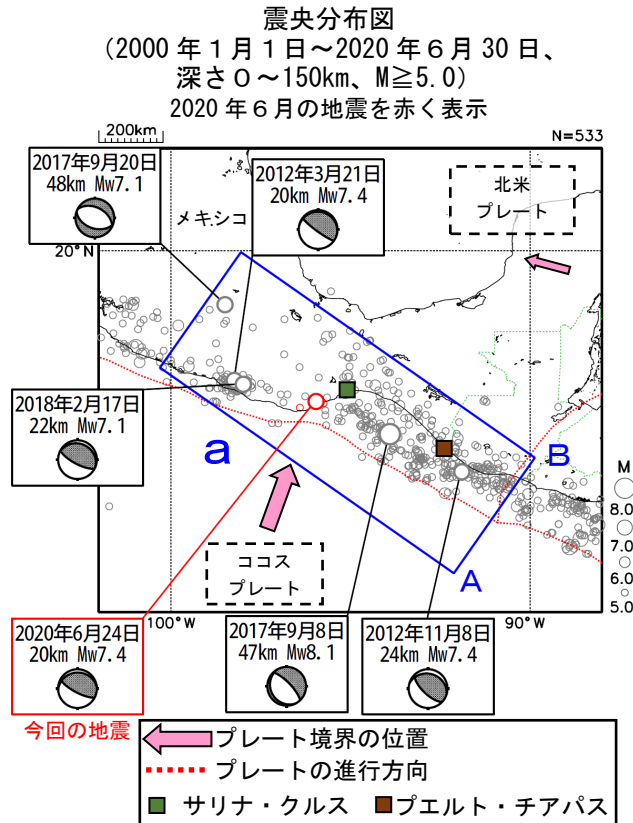
※本資料中、今回の地震の発震機構とMw、及び2011年7月7日の地震のMwは気象庁による。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（7月1日10時現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

気象庁作成

6月24日 メキシコ、オアハカ州沿岸の地震



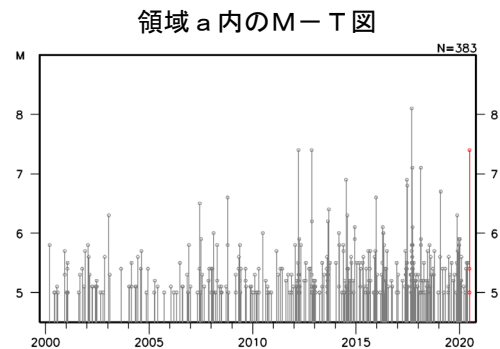
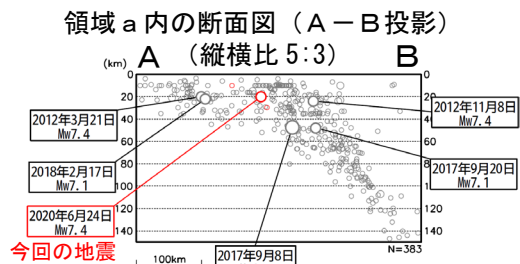
2020年6月24日00時29分(日本時間、以下同じ)に、メキシコ、オアハカ州沿岸の深さ20kmでMw7.4の地震が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震により、同日01時08分に遠地地震に関する情報(日本沿岸で若干の海面変動あり)を発表した。

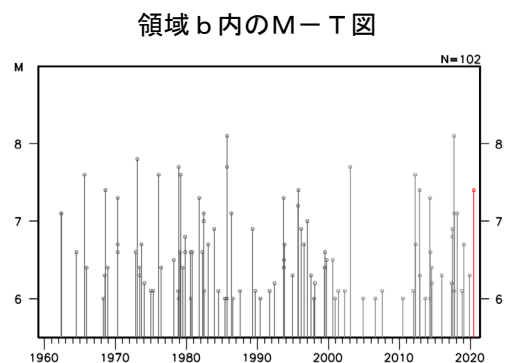
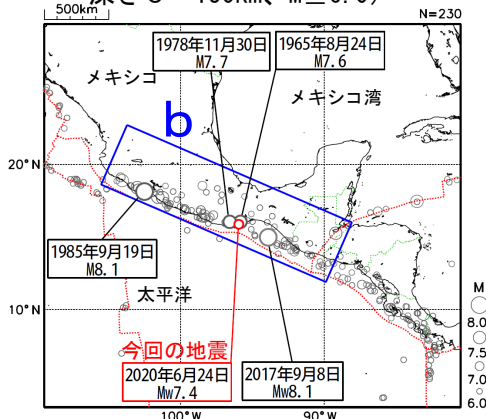
この地震により、メキシコのサリナ・クルスで0.68mなどの津波を観測した。また、この地震により、死者が10人に達するなどの被害が発生した(6月26日現在)。

2000年以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2017年9月8日に発生したMw8.1の地震では、メキシコのプエルト・チアパスで1.76mの津波を観測したほか、約100名の死者などの被害が生じた。

1960年以降の地震活動を見ると、メキシコ太平洋側沿岸では、M7.0以上の地震が時々発生している。1985年9月19日のM8.1の地震では、死者9500人などの被害が生じた(宇津の「世界の被害地震の表」による)。



震央分布図※※
(1960年1月1日～2020年6月30日、
深さ0～150km、M≥6.0)



※本資料中、領域a内における吹き出しの地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は、米国地質調査所(USGS)による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁(NOAA)による(7月8日12時現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。出典のない地震の被害については、国連人道問題調整事務所(OCHA)による。

※※震源データは、1960年から2016年までは国際地震センター(ISC)、2017年以降は米国地質調査所(USGS)のものを使用した。但し、2017年9月8日のMwは気象庁による。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

宇津徳治, 2004, 世界の被害地震の表(古代から2002年まで), 宇津徳治先生を偲ぶ会, 東京, 電子ファイル最終版. 改定・更新版: <http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html>.

気象庁作成